

## 初夏のちよつと寒い夜

初夏のちよつと寒い夜

お母さんが

「毛布だそうか」

と言った。

お姉ちゃんはお出してもらったけど、  
私はあつがりなので断わった。

おフロを上がったら

私のベットのの上に毛布があつた。

かぜをひきやすい私を

心配してくれたのだろう。

「いらないうつて言ったのに。」

ぶつぶつ言いながらも

なんだかちよつとうれしくて

その日の夜

毛布をかぶって

だらだら汗をかきながら寝た。